

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社百々)
 介護事業所名 (グループホーム百々豊田)
 介護保険事業所番号 (2393000340)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年1月	18台	2023年1月	

<p>(1) 事業概要及びスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (2023年1月) 通信環境整備 機器納品 ・ (2023年1月) 機器使用説明会実施 運用開始
<p>(2) 導入する意義・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者様の安全・安心の確保 (転倒事故防止) ・ 入居者様の健康管理 (睡眠データ管理) ・ 夜勤スタッフの負担軽減 ・ チームケアの質の向上
<p>(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者様の安全・安心を確保 (転倒事故の削減) ・ 夜勤スタッフの心理的負担軽減 (離職防止等による介護人財確保)
<p>(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 覚醒状況が把握できることで、予見的な事故防止対応が可能になる。 ・ 覚醒状況が把握できることで、朝の起床時に個々に応じたフロア誘導が可能になる。 ・ 入居者様の健康状態を把握するうえで、貴重なデータを収集することが可能になる。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

眠りスキャン

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

iPhone iPad

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

ワイズマン すぐろくタブレット

⑤従前の介護職員等の人員体制

(日勤帯) 1ユニット3名体制
(夜勤帯) 1ユニット1名体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

(日勤帯) 1ユニット3名体制 (増減なし)
(夜勤帯) 1ユニット1名体制 (増減なし)

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

従前の人員体制に変更はないが、業務効率化を促進し「働きがいのある職場づくり」を実現していく。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

負担軽減が実現することで、残業時間の削減やレクリエーション・傾聴等、入居者様とのコミュニケーション時間の拡充が期待できる。認知症高齢者に対するチームケアの質の向上へと繋げていく。
また、入居者様の健康状態を管理し、安全・安心な生活を確保していく。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人碧晴会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム川口結いの家)
 介護保険事業所番号 (2372800470)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	エスパンシア 3モーター電動ベッド KA-N1481F

導入時期 (予定)	導入台数	購入日	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月28日	10	令和4年12月5日	

(1) 事業概要及びスケジュール

ベッド老朽化に伴い更新に合わせ、ベッド内蔵離床センサー CATCHIIIを搭載した「エスパンシアシリーズベッド (KA-N1481F)」を導入し、特に夜間帯の入居者様の転倒事故防止と見守り業務の効率化を図る。
 令和4年12月5日 発注
 令和5年2月 ベッド搬入 (予定)
 令和5年2月 介護ロボット導入完了 (予定)

(2) 導入する意義・目的

入居者様のベッドからの転倒リスクの軽減、及び見守り業務の効率化による介護職員の精神的・身体的負担の軽減の効果が期待される。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- (1) ベッドからの転倒リスクの高い入居者様の居室への導入により、対象の入居者様の転倒転落事故件数の減少を目指す。
- (2) 夜間 (22:00~7:00) の介護職員の巡視回数を、現状の平均4~5回から平均3~4回に削減し、職員の負担軽減を目指す。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- (1) 入居者様のベッドからの転倒リスクの軽減。
- (2) 特に夜間帯での見守り業務の効率化による介護職員の精神的・身体的負担の軽減。
- (3) ベッドに内蔵された荷重センサーにより正確な検知が期待され、センサー誤報による駆けつけが減少。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

見守りセンサーの製品名

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

ICT機器の製品名

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

介護記録ソフトの製品名

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人豊生会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム彩幸)
 介護保険事業所番号 (2372000303)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボットaams

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月末頃 (承認次第)	26台	令和4年12月末頃 (承認次第)	

(1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】
 見守り介護ロボットaamsの導入。
 【スケジュール】
 令和4年8月申請。承認後速やかに導入。事前にご利用者様及びご家族様に機器の概要を説明して使用の同意を得る。

(2) 導入する意義・目的

見守り介護ロボットaamsによる職員の身体的・精神的負担軽減及びご利用者様の生活環境改善を図る。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- リアルタイムに健康状態及び状況を把握して適切なサービスが提供できるよう業務の見直しを実施。
- ご利用者様の生活環境の向上。
- 特に夜間帯における職員の身体的・精神的負担の軽減を図り離職防止に一定の効果を得る。
- 業務負担が軽減されることによるイメージアップを図り、介護職員確保を推進する。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- 【職員の身体的・肉体的負担軽減】
- ・状況を一定回数モニター管理することにより夜間巡回回数の軽減を図る。
 - ・アラート対応を画像認識することにより訪室前に事前状況を把握できる。
 - ・心拍、呼吸数をリアルタイムで把握することにより精神的負担軽減を図ることができる。
- 【ご利用者様の生活環境改善】
- ・心拍、呼吸数をリアルタイムに把握することにより急変への早期対応が可能となる。
 - ・夜間訪室回数を減らすことにより安眠を保つことできる。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人財団愛泉会)
 介護事業所名 (老人保健施設愛泉館)
 介護保険事業所番号 (2354980001)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月1日	48台	令和4年12月1日	

<p>1) 事業概要及びスケジュール</p> <p>【事業概要】 見守り支援システム「眠りスキャン」を使用することにより、リアルタイムで複数の利用者の状態把握が可能となり、介護従事者の肉体的・精神的負担の軽減、業務の効率化を推進する。また見守りセンサーが利用者の転倒や予期せぬ行動を検知し、介護従事者が迅速にアプローチを行いリスクの軽減が可能となる。</p> <p>【スケジュール】 令和4年9月 職員への導入目的、機器概要の説明。 令和4年10月～12月 利用者、家族への器機の導入目的、効果についての説明。 導入後、定期的に職員へのヒアリングを行い器機使用に関してのブラッシュアップを図る。</p>
<p>(2) 導入する意義・目的</p> <p>介護従事者の負担軽減、及び利用者の安全確保の向上</p>
<p>(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <p>見守りセンサー導入により、リアルタイムに可視化された利用者状態を把握し、適切なケアの提供及びリスクの軽減を図る。また介護従事者の業務の効率化、負担軽減により離職者を減らし、介護事業所として安定した雇用を確保する。</p>
<p>(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等</p> <p>複数の利用者を同時に見守ることができる。 利用者の自発的助けを求める行動だけに依存しない。 見守りセンサーにより利用者の転倒や予期せぬ行動を検知し介護従事者へ通報できる。 介護従事者の負担軽減</p>

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	○
--	---

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	○
ICT機器の製品名	(新規) スマートフォン 富士通ARROWS BZ02 (現行) インカム 無線機 ICOM IC-4110		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	株式会社レゾナ i-MEDIC		

⑤従前の介護職員等の人員体制	20.5
----------------	------

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	19.5
----------------------------	------

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーから得られた情報をスマートフォンで確認し、インカムを使用し介護従事者間で情報の共有を行う。
見守りセンサーの情報を介護ソフトにオンラインで取り込むことができるため、介護従事者は介護ソフトに入力することなく、情報共有、データの蓄積ができる。
介護従事者の業務の効率化を図ることができる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者の状態をリアルタイムでパソコン、スマートフォンで確認することが可能なため、居室への訪問回数を減らしながらも、利用者の転倒や予期せぬ行動を迅速に把握し対応することができる。
介護従事者の負担軽減と共に、利用者のプライバシーを守ることが可能となる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人すいと福祉会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム第2ふみりい憩苑)
 介護保険事業所番号 (2393600065)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN (パラマウントベッド)

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月1日	27台	令和4年12月1日	

1) 事業概要及びスケジュール

・事業概要
 当該機器の導入により、介護職員の業務負担を軽減するとともに、介護支援専門員を中心とした専門職が入居者の睡眠状況を適切に把握することができる。また、リアルタイムでの睡眠状況を把握する事で適切な職員介入ができ介護サービスの質向上につながる。

・導入スケジュール
 交付決定後に速やかに導入する。介護職員や専門職を対象に機器使用の説明会を開催して使用方法の周知を図る。導入後は事故対策委員会等において、得られた効果や使用状況について定期的に検証する。

(2) 導入する意義・目的

- ・夜勤帯を中心とした職員の精神的負担の軽減
- ・介護負担による離職者の減少
- ・入居者及び家族への睡眠状況の可視化による適切な説明
- ・バイタルサインの変化、急変時や体調変化の早期発見
- ・睡眠導入剤や安定剤投与効果の検証
- ・多職種間での情報共有
- ・転倒などの事故を未然に防止

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・見守り介護の効率化を図り、定時巡視を見直して介護職員の業務不安を軽減する。
- ・夜間を中心としたベッド臥床中に、ベッドからの転落などの事故リスクを減らし事故発生件数を減少させる。
- ・睡眠状況の可視化により睡眠導入剤や安定剤の投与を見直す。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・入居者の睡眠状況を適切に把握する事により、体調変化にも早く気付く事ができる。
- ・夜間の行動把握や睡眠状況、バイタル値を確認してケアプランを見直す事ができる。
- ・居室へ入るタイミングを図る事で、入居者の睡眠を妨げない事ができ、職員及び入居者共の負担軽減につながる。
- ・覚醒状況が分かるため、オムツ外しが事前に検知でき本人及び職員の負担軽減につながる。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

- ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
- ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	○
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN（パラマウントベッド）		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	×	既に導入済み	○
ICT機器の製品名	iPad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	×	既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンASPサービス		

⑤従前の介護職員等の人員体制

・基本的に早番、日勤、遅番、夜勤のシフトで2時間毎の定時巡視を行っており、夜勤職員が1人になる夜勤帯には精神的かつ肉体的にも負担が大きい。

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

・臥床時間中の定時巡視を見直す事により、業務に余裕が生まれ巡視業務の人員負担を施設全体で常勤換算0.4人程度軽減が見込まれる。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・スタッフルームにてパソコンモニター越しに利用者を見守る事により、訪室することなく利用者の睡眠状況を把握でき、「熟睡している時は訪室しない」などオペレーションを変更する。
- ・居室で過ごす利用者の「睡眠・覚醒・起き上がり、離床」業況把握と、臥床時の心拍数や呼吸数をリアルタイムで確認でき、覚醒者への対応を早急に実施するなど、ケアの優先順位を立てる事により、職員が効率的に業務でき事故リスクの低下にもつながる。
- ・睡眠状況の記録を何度も転記する必要があったが、介護記録の電子化を行い情報の一元管理を行う事で、職員の記録作成の負担が軽減できる。また、入居者のリアルタイムでの情報共有が可能となる。
- ・介護業務の中での多忙な時間帯の把握と、業務の効率化につながる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・これまでは定時巡視や定時のおむつ交換を実施することにより、入眠中の利用者を起こしてしまいケアの質低下を招いていたが、眠りSCANを活用することにより、入居者の睡眠状況がリアルタイムで把握でき、最適なタイミングでの訪室や介入ができるようになるため利用者及び職員共にメリットが大きい。
- ・日々の睡眠状況を把握し、睡眠中のおむつ交換をしないなど、利用者の状況に応じたケアを行う事ができる。これにより熟睡できる利用者の増加が見込まれる。
- ・これまでは休憩中にもコール対応する事があったが、睡眠状況の可視化により睡眠パターンや生活リズムの把握ができ、職員の休憩時間の確保や精神的にも身体的にも介護負担の軽減につながる。
- ・臥床中の利用者の心拍数や呼吸数も検知してアラート対応できるため、バイタルサインの変化や心肺停止状態など、急な体調変化にも対応できる。
- ・個人の睡眠状況を把握することで、日中と夜間に適したケアプランの作成につながる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (有限会社 水車の森)
 介護事業所名 (水車の森)
 介護保険事業所番号 (2375200702)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	エスパシアシリーズ

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月	39台	2023年2月	

(1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】
 エスパシアシリーズ「KA-N1421G」を導入することにより、ベッドに内蔵された離床CATCHⅢを使用し、利用者様の動作（起き上がり/端座位/離床/見守り）を把握することにより、夜間帯を中心とした利用者様の転倒・転落事故防止や介護職員の見守り業務の心理的負担の軽減と業務の効率化を図ります。

導入スケジュール
 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 2月導入予定)

(2) 導入する意義・目的

職員の精神的・身体的負担の軽減。利用者様への提供サービスの質の向上。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・利用者様の転倒・転落事故の減少。
- ・介護職員の身体的・心理的負担の軽減をし、離職率を低減させる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・利用者様の様態に合わせたセンサー設定が可能な為、起き上がったタイミングなど適切なタイミングでナースコール通知が発報され、転倒及び転落事故の減少が期待される。
- ・ベッドに内蔵された過重センサーを活用することで、より正確な検知が期待でき、センサー誤報による介護職員の駆けつけが減少することも期待できる。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の 3 / 4 の要件の確認

※補助率 3 / 4 の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 倭光会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム藤美苑)
 介護保険事業所番号 (2370100147)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りケアシステムM2 (E&R-N135 W1/M2) フランスベッド

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年3月25日	24	令和5年3月25日	

(1) 事業概要及びスケジュール

当該助成金の採択後、速やかに諸手続きを経て導入を図り、使用対象者に対する説明を行った上で使用開始します。令和3年11月1日導入日 (予定日) に本機器に携わる職員に対して使用に関する説明 (研修) 会を開催し速やかに本機器の使用開始を図ります。導入後は下記に掲げた目標の達成度合い、使用効果の評価を行い必要に応じて関係職員と共に使用方法の見直しや検討を図っていきます。

(2) 導入する意義・目的

- ・無駄な訪室の回数を減らすことにより、介護職員の負担軽減と利用者の睡眠の質の向上を図る
- ・必要な方には必要の見守りを適切に行うことにより転落転倒等の事故の発生を減少させること

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

見守り業務を効率化し介護職員の業務負担を軽減させることまた効率化かつ効果的な見守り業務を徹底し転倒転落に関する事故発生件数を導入前よりも減少させること

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

ご利用者のベッドからの転落リスクの軽減
 介護職員の見守り業務の負担軽減
 早期や夜間等の人員の配置が減少する場合において介護職員のリスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、安心して他の業務に当たれる職場環境の整備の表現。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

◎

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	◎	既に導入済み	◎
見守りセンサーの製品名	見守りケアシステムM2 (FBR-N135W1/M2) フランスベッド		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	◎
ICT機器の製品名	スマートフォン OPPO リノ3A LINE WORKS		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	◎
介護記録ソフトの製品名	SmileOne・SmileWeb+		

⑤従前の介護職員等の人員体制

日勤帯は介護職員11名+看護職員2名+パート職員常勤換算で5.9名
 夜勤帯は介護職員3.5名+看護職員1名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

変更なし（人員は削減せず、介護職員の負担軽減につなげる）

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

利用者一人ひとりに適したベッドセンサーの設定により、訪室回数を減らし介護職員の身体的負担軽減。さらにスマホから介護ソフトへの入力を可能とし、職員同士の連絡も行えることにより職員の肉体的・精神的な負担を減らし働きやすさを向上させる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

余分な訪室回数を減らすことにより、睡眠の質を向上させることができる。転倒、転落リスクが軽減しゲガの防止、骨折等によるその後のQOLの低下を防ぐ。職員の休憩時間の確保等休憩時間以外にも落ち着いた夜間であれば、体を休めながら夜勤業務ができる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人楠会)
 介護事業所名 (介護老人保健施設サン・くすのき)
 介護保険事業所番号 (2350380008)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	メーティスPRO、エスパシアシリーズ

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月	メーティスPRO:70、 エスパシアシリーズ:30	令和4年12月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

<事業概要>

ベッドに内蔵された「離床CATCH」を使用することで、利用者様の動向に合わせた起き上がりや離床の動作を把握して、夜間の状態確認と見守り業務の効率化を図る。

<スケジュール>

令和4年9月申請

令和5年2月導入予定

(2) 導入する意義・目的

・利用者様の状態に合わせた設定をすることで、転落・転倒等の事故のリスクが軽減する。また、本製品が超低床ベッドであることにより方が一ベッドから転落した際の怪我の軽減・防止にも繋がり、介護職員の見守り業務とストレスの負担軽減に繋がる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

・利用者様の状況を把握し個別の生活リズムに合わせたケアを実践していくことで、自立支援と転落及び転倒事故の軽減する。また、事故を軽減することによって介護職員の身体的、精神的負担の軽減に繋げる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

・利用者様の日常の動作に合わせた設定をすることで、起き上がりや離床時により正確なナースコール設定が可能となり、転落や転倒事故が減少する。
 ・利用者様が起き上がりや離床時にナースコールと連動するため、介護職員の見守り等の身体的、精神的負担を軽減させることができる。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	メーティスPRO、エスパシアシリーズの離床CATCH		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	
ICT機器の製品名	ケアパレット (ios 端末)		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT		

⑤従前の介護職員等の人員体制

介護職員36人

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

介護職員35人

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサーによって身体的、精神的負担が軽減され、タブレット、介護記録ソフトを活用して記録時間を削減することにより、日勤帯での人員体制が効率化できる

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・人員体制を効率化できることによって、利用者様と関わる時間が増え、より丁寧な対応が可能になる。また、業務に追われることが無くなるので休憩時間が確保され、職員の身体的、精神的負担が軽減できる

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社いぶきの会)
 介護事業所名 (混合型特定施設いぶき)
 介護保険事業所番号 (2372203246)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	エスパシアシリーズ

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月	56台	2023年1月	

<p>(1) 事業概要及びスケジュール</p> <p>●事業概要 エスパシアシリーズ (離床CATCHIII内蔵) を導入することにより、ベッドに内蔵された荷重センサーを使用し、利用者様の動き (起き上がり/端座位/離床/見守り) を把握することにより、夜間帯を中心に、利用者様の転倒・転落事故防止や介護スタッフの見守り業務の心理的負担の軽減、業務の効率化を図ります。</p> <p>●導入スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 2月導入予定)</p>
<p>(2) 導入する意義・目的</p> <p>・職員の身体的/精神的負担の軽減。 ・利用者様への提供サービスの質の向上。</p>
<p>(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <p>・利用者様の転倒・転落事故の減少。(目標: 20%削減) ・介護職員の身体的・心理的負担の軽減をし、離職率を低減させる。(目標: 20%削減)</p>
<p>(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等</p> <p>・ベッドに内蔵された荷重センサーを活用することで、より正確な検知が可能になり、センサー誤報による介護職員の駆けつけ時間が減少することが期待できる。 ・利用者様のADLに合わせたセンサー設定が可能になるため、「起き上がり」や「離床」のタイミングなど、適切なタイミングでナースコール通知が発報され、転倒及び転落事故の減少が期待される。</p>

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	エスパシアシリーズ		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
ICT機器の製品名	KENWOOD UBZ-BM20R		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	介護記録システムFTCare-i		

⑤従前の介護職員等の人員体制

日勤帯10名（平均） 夜間勤務4名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

日勤帯7名 夜間業務3名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・ベッドに内蔵された荷重センサーを使用し、入居者様の行動をリアルタイムで把握することにより、不要な訪室を避ける。
- ・インカムを使用することで、従来の1対1のコミュニケーションではなく、1対複数スタッフでの意思疎通が可能になり、介護導線の低減につながる。
- ・介護記録ソフト（FTCare-i）を使用することで、記録業務の効率化につながる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・ベッドに内蔵された荷重センサーを使用し、利用者様の動き（起き上がり/端座位/離床/見守り）を把握することにより、夜間帯を中心とした利用者様の転倒及び転落事故を低減する。
- ・ナースコール通知が発報される為、スタッフルームにいる際も、必要なタイミングに応じた訪室が可能になり、休憩時間の確保につながる。
- ・インカムを使用することで、利用者様の呼び出しへの対応が早くなり、利用者様のサービス満足度の向上につながる。
- ・介護記録ソフト（FTCare-i）を使用することにより、記録業務時間の短縮をし、利用者様へのケアにあたる時間を増やす。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人米津会)
 介護事業所名 (介護付有料老人ホームシルヴィー西尾)
 介護保険事業所番号 (2373200605)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN NN-1520

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023/1/25	40台	2022/11/30	購入

(1) 事業概要及びスケジュール

●事業概要
 センサーで得られたご利用者の体動 (寝返り、呼吸、心拍数等) 睡眠などの状態を、パソコンでリアルタイムに確認することで転倒・転落の事故発生のリスクと見守り (巡視) 業務の負担軽減を図ります。

●スケジュール
 補助金交付決定後に発注。
 導入前に職員へ導入説明会を実施。併せてご利用者及びご家族への導入説明。
 導入後にメーカーによる使用説明会を実施しながら実際に運用を開始。

(2) 導入する意義・目的

- ・眠りSCANで得られる利用者の生活リズム/状態のデータを参考に、日々のケアの向上を図る。
- ・介護職員の心身負担の軽減、モチベーションの向上、さらに職員の定着と雇用の促進。

3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・見守り業務の効率化と職員の負担軽減を図る。
- ・眠りSCANのデータ活用し、転倒/転落の事故発生リスクを減らす。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・特に介護従事者の少ない夜間帯における、職員の心理的/精神的負担の軽減。
- ・看取り期のご利用者さんへの迅速な対応と職員の負担軽減。
- ・ご利用者の体動・睡眠などを把握することで、個別ケアの充実。
- ・転倒/転落事故の軽減。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN NN-1520		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
ICT機器の製品名	iPad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT		

⑤従前の介護職員等の人員体制
 ・日勤帯 最低基準に加えて配置する人員を、利用者2人に対して職員1名としている。
 ・夜勤帯 最低基準の人員配置。

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
 ・⑤に同じ。人員体制は変更せず。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサー等を導入後も職員の配置人数の変更は行わない。
 ただし、センサーを活用することで見守り要員となっている職員の比率を下げ、見守り時間に割いていた部分を、記録作成業務に専従できる時間へ転換することで、残業時間の短縮を図ることや、レクリエーションなどへの計画/準備時間に転換することでご利用者へのケア以外の楽しみの充実化を図っていく。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・定時訪室の頻度を2-3割ほど低減し、センサーによる離床/起床などの情報をもとに訪室し介助に繋げることで、ご利用者と職員の相互のストレスや負担の軽減を行う。
 ・日々や看取り期のバイタルサインの把握/異常の早期発見に繋げ、適切な対応を行う。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 十和の会)
 介護事業所名 (にじいろあすなる)
 介護保険事業所番号 (2397500071)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りライフ

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月1日	5	令和5年2月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

見守りセンサーにより、入居者様の起床・離床等の体位変更を把握することにより、転倒等のリスクを低減させ、介護職員の身体的・精神的負担を軽減する。
 利用入居者様に対して介護ロボットを活用したサービスを提供する際には、事前に十分な説明を行い、同意を得た上で実施し、職員に対しては、導入時に設置方法、タブレット端末での操作・使用方法等を合わせて説明会を開催し、周知を図る。また、定期的に動作確認と研修を実施する。
 交付決定後、発注・導入を行っていく。Wifi工事も行うため、Wifi設置後の納品になる予定。
 令和4年11月 申請
 令和5年2月 導入予定

(2) 導入する意義・目的

入居者様の状態に合わせた設定でスマートフォン、タブレット端末等に連動させると共に、複数人のリアルタイムな状態を表示できる見守り機器を導入し、入居者様の生活の質の向上や夜間帯職員の精神的な負担軽減を図ることを目的とする。

3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ①入居者様の呼吸状態や睡眠状態の把握がリアルタイムに出来るので、介護職員の見守り業務の身体的、精神的負担の軽減する。
- ②ベット上での状態を把握し、転倒転落のリスクを軽減する。
- ③看取りにおいても、状態の変化の把握が可能になるため、適切な看取り対応を行う。
- ④適時適切に関わることで介護業務の負担軽減を図り、介護職員の離職を防止する。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ①入居者様の転倒事故の軽減
- ②入居者様の睡眠リズム把握によるサービスの向上
- ③看取り期の方の状態変化の把握
- ④介護職員の身体的、精神的負担の軽減。
- ⑤転倒転落事故の減少、見守りに関する業務の負担軽減されることにより、介護職員が安心して勤務に従事でき介護業務の軽減により、離職の防止。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○/

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

見守りライフ

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○/

ICT機器の製品名

アップルWi-Fi 32G 10.2インチ iPad

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○/

介護記録ソフトの製品名

ワイズマンIDCシステム一式

⑤従前の介護職員等の人員体制

日勤帯5名、夜勤帯2名/

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

日勤帯4名、夜勤帯2名/

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・日々状況が変化する入居者様の情報をタブレット端末で確認できることから、最新の情報が職員間で共有でき、仕事を効率的に進めることが出来る。日勤帯の勤務者削減に繋げる。/
- ・見守り機器にてタブレット端末等で複数人のリアルタイムな状態を表示できることから、入居者様の生活状態が把握でき、必要時の訪室と夜間帯の巡視タイミングを感知でき、巡視時の入居者様、夜勤者双方の負担軽減を図る。/
- ・入居者様の状態に合わせたセンサー設定が可能のため、起き上がり時、離床時等を適切なタイミングでタブレット端末に発報し確認できることから、転倒及び転落事故防止を図る。/

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守り機器にてタブレット端末で複数人のリアルタイムな状態を把握できることにより、不必要な訪室を軽減できるため、入居者様と個別に関わる時間を増やせ、コミュニケーションを取ることで、ケアと生活の質を向上する。/
- ・見守り機器により転倒転落を防止、察知できることから、見守りに関する負担が軽減され、介護職員が安心して業務等に従事することができ、身体的、精神的負担の軽減を図る。/ また、業務軽減により、介護職員の離職を防止する。/

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人知多学園)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム論地がるてん)
 介護保険事業所番号 (2394600031)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りライフ

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月	10	2023年2月	

1) 事業概要及びスケジュール

・当該機器の導入により、
【スケジュール】
 9月 デモ機試用
 9月中 職員からの意見聴取、アンケート実施
 導入決定後、業者との契約
 2月 機器導入・運用開始

(2) 導入する意義・目的

センサーコールの対応負担を軽減する。特に夜勤職員の訪室・対応負担を軽減することにより離職防止につながる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

【アンケート・主観的把握】
 職員に対しアンケートを実施し、導入前、導入後 (半年、1年、3年) に身体的、精神的な負担度合いを5段階で評価してもらい数値化する。導入前の数値を減少させ負担軽減度合いを把握する。
【訪室回数の減少・客観的把握】
 介護ソフトを活用し、訪室回数を確認する。見守りライフでの確認を適切に行なうことで訪室回数を減少・適正化する。目標：訪室回数の3割減

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

現在使用している離床センサーコールは、設置具合により寝返り等の体動時にも鳴ってしまう。職員は、コールの都度、訪室し状況を確認している。
 見守りライフの導入により、介護ステーションで定期的にモニターを確認することで訪室回数を減らすことができる。(身体的負担軽減) また、『動き始め』『起き上がり』『端坐位』『立ち上がり』のどの状態かをステーションで視認できることは、職員の精神的負担軽減にもなる。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	○
--	---

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	見守りライフ		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
ICT機器の製品名	iPad mini		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ケアカルテ		

⑤従前の介護職員等の人員体制
 常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.6名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
 常勤介護職員12名、非常勤介護職員5名、常勤換算14.7名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

【見守りセンサー】見守りライフによりナースコール＝訪室・対応の現状がナースコール＝端末やPCで状況を確認・必要に応じて訪室・対応となり介護職員の動線が短縮・適正化される。
 【ICT】ナースコール→見守りライフ(iPAD)の確認により、訪室・対応が必要かどうかの判断が視覚的に可能となる。
 【介護ソフト】実施したケアをすぐに記録することで施設内の他セクションと情報を共有することが可能となる。
 初動・協働・共有をシステム化することで職員の負担を軽減しつつ人員の効率化が図れる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

【ケアの質】施設内会議で介護ロボット等の使用状況を確認し、効果と課題を整理する。効果は各ユニットで周知し共有する。課題は、①職員個人に起因するものであればON-Job・off-Jobトレーニングを企画、②チーム・仕組みの課題であれば会議で検討し対策を講じる。③機器そのものに起因するものであれば、業者・メーカーに問い合わせ、改善依頼をする。
 介護ロボットを使いこなせるよう上記の取り組みを行なうことで職員の負担軽減につながるものとする。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 鳳寿会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームくるみ荘)
 介護保険事業所番号 (2376400046)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月	5台	2023年1月	

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要
 見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール
 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 2月導入予定)

(2) 導入する意義・目的

職員の精神的・身体的負担の軽減。利用者への提供サービスの質の向上。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄のケアを行う。
- ・居室内での転倒事故件数を削減させる。(数値目標：20%削減)
- ・離職率を低減させる。(数値目標：15%削減)
- ・リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減をさせる。(数値目標：巡視10回→5回、見守り業務50%削減)

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- ・利用者のQOLの向上。
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(5) 適用を受けようとする補助率

(6) 補助率の3/4の要件の確認
 ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社ケアベルデ /)
 介護事業所名 (ベルデ名古屋栄生 /)
 介護保険事業所番号 (2370400658 /)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護 /)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月	45台	2023年1月	

1) 事業概要及びスケジュール

事業概要

見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 2月導入予定)

(2) 導入する意義・目的

職員の精神的・身体的負担の軽減。利用者への提供サービスの質の向上。

3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄のケアを行う。
- ・居室内での転倒事故件数を削減させる。(数値目標 20%削減)
- ・離職率を低減させる。(数値目標 20%削減)
- ・リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減をさせる。(数値目標 目配りの為の訪室3回→1回、見守り業務30%削減)

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- ・利用者のQOLの向上。
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	○
--	---

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
ICT機器の製品名	ipad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンシステムSP		

⑤従前の介護職員等の人員体制 介護・看護職員の配置率 2.2:1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 介護・看護職員の配置率 2.5:1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
- ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入居者様の情報が入り、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時の目配り」から「適宜の訪室」に変えていき、効率化を推進する。
- ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。

※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。
余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、スマートフォン・タブレット端末にて、リアルタイムの各入居者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。
- ・目配りの方法を「定時の目配り」→「適宜の訪室」に変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減につなげる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 高坂福社会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム 高坂苑)
 介護保険事業所番号 (2371600137)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	パラマウントベッド株式会社 眠りSCAN NN=1520

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月1日	140台	令和5年1月10日	

(1) 事業概要及びスケジュール

★事業概要
 当該見守り機器を導入し、個々のご利用者様における睡眠状態を客観的に可視化することで睡眠における個別ケアを実践し、ご利用者様の快適な睡眠と夜勤スタッフの業務負担の大幅な軽減を目指す。

★スケジュール
 補助金交付決定後、速やかに導入する。

(2) 導入する意義・目的

見守り機器を導入する目的は、機器を活用することで、①ご利用者様の睡眠時における健康状態も客観的に把握できるので、よりきめの細かい健康管理ができる。②夜間における見守り業務の効率化が図れ、ご利用者様の熟睡とスタッフの心身の負担が軽減できる。③ご利用者様の睡眠時の様子が時系列で把握できるので、様々な場面での対応が予測可能である。④介護ロボットとの連携機能により睡眠に関する記録業務を自動化し、介護スタッフの時間外労働時間を大幅に削減すること等です。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

★睡眠状態から得たデータから入所者個々の健康状態を分析・把握し、早期に医療機関に受診することで、夜間帯における医療機関受診件数を年間で2割程度減少させる。
 ★夜勤業務における巡視回数を平均4回から平均2回へ減少させる。
 ★夜勤業務の負担感を原因とした離職を0とする。
 ★夜間覚醒を原因とする居室内での転倒事故件数、ベッドからの転落事故件数をともに0件とする。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

★看取り期のご利用者様への迅速な対応と職員の不安緩和と負担軽減が期待できる。
 ★医療機関への情報提供のエビデンスとなることが期待できる。
 ★睡眠状態の可視化で、睡眠の妨げに繋がる訪室の回数が縮小と就寝後の転倒・転落事故の減少が期待できるとともに、それに関わるスタッフの心身の負担軽減をも期待できる。
 ★ご利用者様の睡眠リズムを把握することにより、個別ケアの充実が期待できる。
 ★訪室回数の削減及び記録時間の短縮から、介護スタッフの時間外労働の縮小が期待できる。
 ★データを元にご家族と情報の共有が期待できる。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

見守りセンサー 眠りSCAN NN-1520 (パラマウントベッド株式会社)

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

無線LANインカム IP100H (アイコム株式会社)

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

介護記録ソフト SmileOne (株式会社プラスワン)

⑤従前の介護職員等の人員体制

人員配置が常勤換算2.57:1、夜勤者の最長仮眠時間1時間

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

人員配置が常勤換算2.66:1、夜勤者の最長仮眠時間2時間

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーにより可視化された身体状態を分析することで、①スタッフによるバイタル測定をより限定化し、不必要な安否確認の削減する。②介護記録ソフトとの連携機能活用により睡眠時の記録を電子化し、記録業務に係る時間を短縮する。③インカム活用によるスタッフ間でのシームレスな情報共有で巡視業務の効率化と個別ケアの充実を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

★ご利用者様のケアの質の向上のために、①睡眠を妨げとなる定時の訪室を廃止する。②最も近くにいるスタッフがタイムリーに対応する。③健康維持・管理のため、医療職・医療機関と睡眠時のデータも共有し、早期対応に努める。④ご家族様とも情報共有し、ケアチームとして一緒に事故やトラブルの防止と努める。
★スタッフの休憩時間の確保と負担軽減等のために、①身体的負担となる定時の巡視範囲を限定的にする。②睡眠時の記録を連携機能による自動転記とし、記録業務を削減する。③睡眠リズムを分析し、個別に排泄ケアをも直す。④睡眠時のデータもカンファレンスで情報共有し、ケアに活用する。⑤データを分析し、医療機関への受診の目安を個別に作成する。

介護ロボット導入計画書

法人名（ 医療法人 桂名会 ）
 介護事業所名（ 名東老人保健施設 ）
 介護保険事業所番号（ 2351580002 ）
 サービス種別（ 介護老人保健施設 ）

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期（予定）	導入台数	購入日（予定）	リースの契約期間（予定）
2023年2月	40台	2023年1月	

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要

見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。（2023年 2月導入予定）

(2) 導入する意義・目的

職員の精神的・身体的負担の軽減。利用者への提供サービスの質の向上。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標（導入後3年間）

- リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄のケアを行う。
- 居室内での転倒事故件数を削減させる。（数値目標：10%削減）
- リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減をさせる。（数値目標：見守り業務20%削減）

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- 利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- 利用者のQOLの向上。
- 職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

眠りSCAN

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

ティービーアイ社 クリアトークカム（インカム）

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

ワイズマンシステムSP ケア記録オプション

⑤従前の介護職員等の人員体制

利用者：看護師/介護職員=1.9：1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

変更なし

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。

・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、職員が使用しているインカムに動きのあった利用者の情報が入り、タイムリーかつ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。

・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。

※決まった時間での巡視ではなく、利用者の状況に合わせて巡視を行う。

人員数は変更せず、余剰の時間に対応しきれなかった利用者の対応に時間を充てる等の人員体制の効率化を図り介護の質の向上につなげる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者の睡眠時間を確保する。

・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、タブレット端末、インカムにて、リアルタイムの各利用者の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。

・巡視の方法を変更することにより、訪室回数を減らし休憩時間の確保につなげる。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人善樹会)
 介護事業所名 (老人保健施設ウエルネス守山)
 介護保険事業所番号 (2351380015)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月15日	7	令和5年1月15日	

1) 事業概要及びスケジュール

事業概要

見守り介護ロボットaamsを導入し、これまで詳細な把握が困難であった睡眠や生活リズム、生体情報を把握することで、職員の負担軽減と業務の効率化、個別のケアの質向上に繋げていく。

スケジュール

令和4年9月に申請。交付決定の承認後、速やかに導入及び取扱説明会を実施し運用する。以降、使用効果の評価を行い必要に応じて関係職員と共に使用方法の見直しや検討を図り、職員の業務負担軽減や入所者様のケア向上を図っていきます。

(2) 導入する意義・目的

見守り介護ロボットaamsの導入により職員の業務負担軽減や入所者様のケア向上などの価値を得ることを目的としている。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ①入所者様の睡眠状況やバイタル状況を把握し、個々の状況に合わせたケアの提供をする。
- ②入所者様の睡眠時間の確保に伴い夜勤職員の適切なタイミング (覚醒中・浅い眠り) での訪室やモニターで状態確認を行い訪室回数を減らし業務の効率化や肉体的・精神的負担を軽減させる。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ①夜間の行動状況や覚醒状態、バイタル状況を確認することによりケアプランの見直しに役立てることが可能となる。
- ②ナースコールと接続することにより入所者様の急な状態変化をアラート通知することや毎日の睡眠状態の記録を残すことも出来る為、体調・生活状況の管理を強化でき、個別のケアが可能となる。
- ③データを元に、日々の状況をご家族様へ報告する事も可能となる。
- ④モニターで状態確認ができる為、夜間時の訪室業務の負担軽減、介護者のストレス軽減にも役立てることが可能となる。
- ⑤夜間時にバイタル状況をもとに適切なタイミングでの入所者様へのアプローチが可能となる。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	見守り介護ロボット		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人清水会)
 介護事業所名 (豊明第二老人保健施設)
 介護保険事業所番号 (2354880011)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月 /	6台	令和5年1月17日	

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要

利用者の睡眠、覚醒、呼吸数や心拍数等をモニター・分析し、より適切なタイミングで必要な対応ができるようにする。『見える化』により業務の効率化や看護・介護従事者の業務負担の軽減を図り、利用者に対するケアの質の向上を目指す。

スケジュール

購入日：1月中旬 導入前の説明会：1月中旬 運用開始日：1月中旬

(2) 導入する意義・目的

眠りスキャンの導入により介護業務の効率化、業務負担の軽減を図りつつ、よりよいターミナルケアの充実を図り、施設での看取り体制を万全にする。
 昼夜逆転、睡眠障害がある方、新規利用者等の睡眠リズムや呼吸数や心拍数等をモニターすることで、不要な訪室は減らし、睡眠時間の確保、夜間の安眠を導く。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

ターミナルケア業務に対する従事者満足度の向上。
 見守りのための訪室回数 (見回りに要する所要時間) の軽減。
 夜間の徘徊、離床、転倒や転落事故件数の軽減。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

看護・介護従事者の業務負担の軽減が期待できる。
 (見守り業務時間減少による身体的負担の減少、事故リスク軽減による精神的負担の減少)
 業務の効率化と生産性の向上 (見守り業務に費やしていた時間を他の介護業務へ充てることができる)。
 ターミナルケア対象者に対する個別ケアの充実が図れる。
 利用者の夜間の睡眠が整い、健康的な生活が期待できる。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定			
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定			
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定			
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (特定非営利活動法人かくれんぼ)
 介護事業所名 (グループホームかくれんぼ)
 介護保険事業所番号 (2390300067)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守り支援システム「眼りスキャン」

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月	9台	令和4年12月	

1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】
 見守り支援システム「眼りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護職員の負担を軽減する。また、状況に合わせてケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。
 【導入スケジュール】
 令和4年9月 申請
 交付決定通知後、速やかに発注。
 令和4年12月 導入予定。

(2) 導入する意義・目的

ご利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで把握・可視化することで、状況にあわせたタイムリーな個別ケアを実現させる。可視化により夜勤の定巡回の無駄を省くことで、介護職員のストレス軽減と安心感を向上させる。

3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ご利用者様の夜間帯におけるベッドからの転落・転倒を行動予測による事前対策効果により、重大な事故発生件数の削減を目指す
- 睡眠状態を把握しデータ化することで、適切なケアを提供しご利用者様のQOL及QCSの向上につなげる。また健康管理や徘徊等のリスク軽減に役立てる。
- 見守り業務を効率化し、夜間帯勤務に対する介護職員の業務負担軽減を目指す。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- 転倒リスクの高い利用者様に対して、ベッド上での動作時にすぐ映像確認できるため、緊急対応の必要性の高さを機時に的確な判断材料が期待でき、必要なケアを適切に提供できる。
- ご利用者様の睡眠状態を把握することにより、一人ひとりに合わせた個別ケアサービスの改善につながる。
- 夜間帯の定巡回を減らすことで、介護職員の負担軽減とご利用者様の安眠・良眠が確保される。

(5)適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認
※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	<input checked="" type="checkbox"/>	既に導入済み	<input type="checkbox"/>
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	<input type="checkbox"/>	既に導入済み	<input checked="" type="checkbox"/>
ICT機器の製品名	i pad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	<input checked="" type="checkbox"/>	既に導入済み	<input type="checkbox"/>
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXTクラウド		

⑤従前の介護職員等の人員体制

9人に対して一人の夜勤者

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

夜勤帯の可視化によりエビデンスに基づく新人指導を実施できるため、理解しやすくなり指導時間の軽減に繋がる。
さらに眠りスキャンで入手したデータを介護記録に入力、活用して、利用者生活リズムを把握し、個別ケアの質の向上と生産性向上に取り組みます。

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りスキャン（見守りセンサー）とICT機器（i pad）を活用することで、ベッド上の動作を映像で確認したり、睡眠時の状態の把握が可能になるため、緊急時の的確な判断やターミナルケア時の適切なタイミングでのかわりや対応ができる。また、夜間帯の定期巡回の無駄を省き介護職員の負担軽減に繋げる。
さらに眠りスキャンで入手したデータを介護記録に入力、活用して、利用者生活リズムを把握し、個別ケアの質の向上と生産性向上に取り組みます。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

ご利用者様のケアの質を向上させる取組みとして、一人ひとりの睡眠状況をデータ化しレポートを作成する。情報をご家族やケアマネージャー、介護従事者と共有し睡眠導入剤の投薬効果の検証に役立てる。また、夜勤者の負担軽減のため居室で過ごすご利用者様の状態を見える化することで、巡回の回数を減らす。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 あぐりす実の会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム 大地の丘)
 介護保険事業所番号 (2375701139)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月28日	3台	令和5年2月28日	

(1) 事業概要及びスケジュール

○事業概要
 当該機器を導入することにより、入居者の睡眠状態、心拍数、呼吸の状態を端末で把握できるため、転倒・転落防止を減少することと併せ、看取り状態の方の心拍・呼吸の状態変化が事務室のPCから一元的にわかり、職員の訪問回数の減少ができ、適切なタイミングで介助ができる。職員の見守り・看取り業務補助の効率化を図り、夜勤時の職員の業務負担の軽減を図ります。

○導入スケジュール 令和5年 2月 機器取扱説明講習を導入予定部署に対し実施
 2月 機器導入

(2) 導入する意義・目的

- ・入居者に対する、適切なタイミングの介助支援が対応でき事故防止が図れる。
- ・夜勤時、日中の職員の見守り・看取り業務の業務軽減ができる。
- ・職員の身体的・精神的負担の減少が図れる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・見守り・看取り介護業務の効率化を図り、介護職員の労務負担の軽減を目標とする。
- ・介護ロボット機器を効率的に使用することにより、適切な介護支援業務を行い、事故発生率の減少をすすめることにより利用者家族に安心を提供し、介護サービスの向上を目標とする。
- ・少ない人員で夜勤帯の対応が可能となるよう、労務負担軽減策のひとつとして充実を図り、職員の定着率の向上を目指す。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・入居者の生活状況(睡眠、覚醒、心拍数、呼吸など)の状態変化を端末で把握でき、早い危険予知により適切な対応がとれるようになる。
- ・眠りの状態を把握し、入居者の睡眠を妨げることなく、介護サービスを提供できる。
- ・介護職員の夜勤時の労務軽減、心的軽減が図れ、職場環境が改善される。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認
 ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 ○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

見守りセンサーの製品名	ネオスケア		
-------------	-------	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

ICT機器の製品名	スマートフォン・アイパッド		
-----------	---------------	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT		
-------------	----------	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む) 92人(8/1現在) 人員基準以上でありながらも、介護の重度化対応に苦慮しており、結果として要員の余裕はなし
----------------	--

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む) 90~92人 介護職員の負担軽減となるが、従前の人員体制を維持することで、さらなる重度化へ対応
----------------------------	---

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

令和元年、令和2年の見守りセンサー導入により、見守りのため居室に行く機会が減り、職員の労務的・精神的負担軽減に繋がるとともに、入居者個々の行動パターンの情報が職種間（介護職員・看護師・栄養士・相談員）で共有できた。その結果、入居者居室のドアの開閉数が減り、入居者の質の高い睡眠と介護支援を確保することが実現できた。また、介護記録ソフトは導入済みで、タブレット端末等によるデータ入力が進み、法人全体のデータ化、ペーパーレス化が進んだ。LIFEへの報告も円滑に進めることができた。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

入居者の詳細な行動パターンの職種間（介護職員・看護師・栄養士・相談員）情報共有により、食事（趣向と栄養のバランス調整等）、排泄（排泄量・タイミングの把握等）、睡眠（オムツの選定等）など入居者の更なるケアの質向上に向け検討する余裕ができ改善に繋がるとともに、直接介助にかかる職員の身体的・精神的負担の軽減にもつながった。
 これにより、職員の労働時間の短縮、休憩時間の確保をさらに進める。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 あぐりす実の会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホーム 大地の丘)
 介護保険事業所番号 (2375701139)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	Neos+Care (ネオスケア)

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月28日	5台	令和5年2月28日	

(1) 事業概要及びスケジュール

事業概要
 本機を導入することにより、入居者の生活状況(睡眠、端座位、起き上がり、離床)を端末で一括把握できるため、状態変化が移動せずに把握することができ、適切なタイミングで介助ができる。これにより、職員の見守り業務の効率化とともに夜勤時の業務負担軽減を図ります。
 本事業所では、令和元年10台、令和2年8台を本事業で導入し、活用実証済みであり、介護現場で欠かせない機器となっている。今回追加導入し、更なる介護の効率化と職員の負担軽減を図りたい。

導入スケジュール 令和5年 2月 機器と取扱説明講習を導入予定部署に対し実施
 2月 機器導入

(2) 導入する意義・目的

- ・見守り業務の効率化をとともに、介護職員の1日を通した見守り業務の負担軽減が実現できる。
- ・入居者の行動把握ができるため、適切なタイミングの介助支援に対応できる。
- ・入居者の行動把握により転倒転落の危険予知が可能となり、重大事故を防止できる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・見守り業務を効率化することで、介護職員の身体的精神的負担軽減を追求する。
- ・見守り機器を効率的に使用することにより、入居者家族に安心・安心の浸透とともに、介護サービスの質向上を図る。
- ・少ない人員で夜間帯の対応が可能となるよう労務負担軽減策のひとつとして充実を図り、延いては職員の定着率向上を目指す。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・入居者の生活状況(睡眠、端座位、起き上がり、離床)を端末で一括把握でき、状態変化に素早く対応することにより、早い危険予知ができ、事故発生の減少につながる。
- ・事故発生時に、録画機能の活用により、発生原因の検証、分析が可能となり、情報共有および再発防止につなげる。
- ・介護職員の夜勤時の労務軽減、心的ストレス軽減が図れ、職場環境が改善されることにより、介護職の定着率向上とともにモチベーションを向上させることができる。

(5) 適用を受けようとする補助率

3/4

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

見守りセンサーの製品名

ネオスケア

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

スマートフォン・アイパッド

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

ほのほのNEXT

⑤従前の介護職員等の人員体制

特養大地の丘 職員（パート含む）92人（8/1現在）
人員基準以上でありながらも、介護の重度化対応に苦慮しており、結果として要員の余裕はなし

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

特養大地の丘 職員（パート含む）90～92人
介護職員の負担軽減となるが、従前の人員体制を維持することで、さらなる重度化へ対応

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

本機は令和元年、令和2年に導入しており、今回は、入居者の重度化を背景とした現場要望による更なる機器の増設である。機器導入による見守りのため居室に行く機会が減った実績もあり、職員の労務的・精神的負担軽減に繋がるとともに、入居者個々の行動パターンが職種間（介護職員・看護師・栄養士・相談員）共有できた。その結果、入居者居室のドアの開閉数が減り、入居者の質の高い睡眠と介護支援を確保することが実現できた。また、介護記録ソフトは導入済みで、タブレット端末等によるデータ入力が進み、法人全体のデータ化、ペーパーレス化が進んだ。LIFEへの報告も円滑に進めることができた。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

入居者の詳細な行動パターンの職種間（介護職員・看護師・栄養士・相談員）情報共有により、食事（趣向と栄養のバランス調整等）、排泄（排泄量・タイミングの把握等）、睡眠（オムツの選定等）など入居者の更なるケアの質向上に向け検討する余裕ができ改善に繋がるとともに、直接介助にかかる職員の身体的・精神的負担の軽減にもつながった。

これにより、職員の労働時間の短縮、休憩時間の確保をさらに進める。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人さくら福祉事業会)
 介護事業所名 (ショートステイさくらレジデンス)
 介護保険事業所番号 (2372104683)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月15日	11	令和4年12月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

夜間帯の見守り業務の効率化と設置利用者の睡眠行動の把握
 【導入スケジュール】
 令和4年8月 補助金申請
 令和4年11月 内示
 令和4年12月 内示後、発注
 令和5年1月 導入

(2) 導入する意義・目的

夜間帯の見守り業務の効率化による職員の身体的、心理的負担の軽減と利用者の睡眠行動の把握

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

利用者の睡眠や、動作呼吸状態をリアルタイムにモニタリングし、一人ひとりの睡眠リズムを把握する。科学的根拠に基づいた問題の把握、それに対する対策及び計画の立案を行う。職員の心理的・身体的負担の軽減を目標とする。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ・利用者様の睡眠リズムの把握
- ・夜間時の睡眠、覚醒時間を把握し生活リズムを整える
- ・転倒や転落リスクの軽減
- ・職員の心理的、身体的負担軽減

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認
※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定			
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定			
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定			
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人青山里会)
 介護事業所名 (びわしま介護センター)
 介護保険事業所番号 (2390400170)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	a a m s

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月26日	3	令和4年12月26日	

(1) 事業概要及びスケジュール

①見守り支援システム導入によるご利用者の睡眠と覚醒リズムの把握に努め、当該データを検証して、ご利用者の睡眠リズムに適した適切なケアの実践を図る。また、適切な訪室のタイミングを見極め、必要ない巡視の回数の減少を図ることによる職員介護負担の軽減につなげる(業務の効率化)。

②令和4年12月1日までに見守り支援システムの追加導入を完了させ、令和5年1月には増大した状況で運用を開始する予定。

(2) 導入する意義・目的

①昨年度の導入支援事業を活用して、特養3ユニットに1台ずつ(合計3台)を導入している。今回の導入支援事業を活用して新たに3台増加し、見守り支援システムの活用を拡充し、総体的に利用者の生活介護の質の向上を図る。また、ICTの状態化を目指し、職員にデータを読み解く力、その読み解いたデータを活用した根拠ある介護が展開できるスキルの向上を図る。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

①適切な巡視時間の実施(安眠阻害の防止・介護負担の軽減)
 ②適切な日常リズムの構築(適切なケアの見極めと実践)
 ③心拍数と呼吸数データの考察を行い、看取りケアの体制の構築につなげる。
 ④介護ロボットを含めたICTの活用目的とその効果および活用方法の理解を職員全員で深める。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

①ご利用者の睡眠と覚醒のパターンの把握ができ、ご利用者に対して適切なタイミングで訪室や巡視を実施、それに伴う利用者の安眠阻害防止の効果が期待される。また、不用意な訪室による利用者の覚醒とその後の不眠も防止できるため、職員の負担軽減の効果も期待される。

②昼夜逆転傾向のある利用者に対して、健康的な生活リズムを構築するための材料として、当該システムの睡眠状況のデータを活用することができる。

③脈拍、呼吸数も定期的に計測されるため、ご利用者の体調変化の可視化ができ、より迅速な対応に繋げる効果が期待される。また、将来的な看取り体制構築の際に、信頼度の高い看取りケアの実践に繋げる効果も期待できる。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の 3 / 4 の要件の確認

※補助率 3 / 4 の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

見守りセンサーの製品名			
-------------	--	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

ICT機器の製品名			
-----------	--	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

介護記録ソフトの製品名			
-------------	--	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

--	--	--	--

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

--	--	--	--